



山 砂 利

一般に「砂利」と呼ばれているものは、その産出する場所によって山砂利・河砂利・海砂利の3種に区別される。海砂利・河砂利は現在の海浜や河床に堆積したもの または堆積中の現世の砂利をいい、山砂利は地質時代の海および河床の砂利で、その後の地殻変動によって現在は山地になっている所から産するものをいう。

この写真は 北海道白糠郡白糠町字庶路市街地にあるもので 第四紀層 洪積世に属する釧路層中の山砂利である。採掘場は 釧路層の下部に相当する露頭面にあり 同層は未固結の砂・礫層であるため採掘はきわめて容易である。

所内第4回写真コンクール参加作品「山砂利」
燃料部石炭課鈴木泰輔

崖面から掘り崩された砂・礫はポンプで汲み上げられた水で洗われ、樋を通じて篩による粒度選別をうける。

礫は一般にそら豆大～クルミ大のものが多く、かたちは垂円礫ないし円礫である。礫の種類は赤色珪石・粘板岩・砂岩および泥岩などの雑色礫である。昭和31年10月現在で日産20～30tを産出し、主として道路用に供せられている。

……地質調査所の出版物……

・地質調査所月報 (第9巻 第10号)

報 文

- 上野 三義:岐阜県洞戸地区珪灰石調査報告
- 関根 良弘:山口県大和鉱山珪灰石調査報告
—第1報 珪灰石の産状と鉱石について—
- 井上 秀雄・土井 啓司:愛媛県小大下島珪灰石調査報告
- 高橋 博:福岡県採銅所地区珪灰石調査報告
- 堀内 恵彦:熊本県竜峰地区珪灰石調査報告
- 石和田靖章・佐藤 茂・牧野登喜男:常磐炭田中部地区における炭田ガスの予察研究

資 料

地殻に発達する褶曲構造の主要成因型

地質調査所月報 (第9巻 第11号)

報 文

- 片山 信夫・丸山 修司・物部長進・北卓治・三堀照夫
鳥取・岡山県境人形峠県道切取りに発見されたウラン鉱床について
- 高島 彰・菊池 徹:福島県高ノ倉鉱山放射能予察調査報告
- 浜地 忠男・石原 舜三:鹿児島県高隈山地鉱床調査報告
- 野沢 保・高橋 清・河田 清雄:足尾南方の沢入花崗閃緑岩の性質の概略
- 蜷川 親治・田中 章介:北海道滝川地区地震探査報告
- 島田 忠夫・矢崎 清貫:北海道苫小牧市附近天然ガス予察調査報告

概 報

- 近藤 信興:九州北部筑後川水系発電用ダム予定地地質調査報告
- 稲井 信雄:鹿児島県鹿屋銅山概査報告
- 清島 信之:広島県仏通寺ベグマタイト調査報告
- 清島 信之:山口県玖珂地区放射能強度概査報告

- 長谷川 博 外5名:千葉県九十九里浜海浜および海底砂鉄調査報告
- 小谷 良隆・馬場 健三・齊藤友三郎:鳥根県黒沢地区物理探鉱調査報告

資 料

成分の活性化と後火成作用過程下の溶液の酸性度および反応の逐次性との相関関係について

・地質調査所月報 (第9巻 第12号)

報 文

- 蔵田 延男・尾崎 次男・後藤 準次:中利根工業用水源地域調査報告
—関東西部地域調査 第8報—
- 蔵田 延男・村下 敏夫・比留川 貴:新潟県新潟市・長岡市および新発田市工業用水源調査報告
- 尾崎 次男・武市 敏雄・小林 竹雄:淀川水系工業用水源調査報告
—淀川水系地域調査 第3報—
- 村下 敏夫・森 和雄・後藤 準次:大阪府下工業用水源調査水文測量地域調査報告
—淀川水系地域調査 第4報—

資 料

海緑石による絶対地質年代の発展に関する若干のデータ (アルゴン・ザルコン法)

火成岩と鉱脈との中間生成としてのベグマタイト

正 誤 表

No.51 3P の中段〔空からみた名古屋臨海部〕説明文中4行目愛知用水 10,000 m³/日は…… 100,000 m³/日に
5P 中央の図面の見出し「用水豊富な工場適地」
と凡例〔赤ベタたんざく形 (S) ~ 表流水豊富〕を入れる
と凡例〔赤斜線のたんざく形 (G) ~ 地下水豊富〕を入れる
12P 中央左ハマグリの *neretrix*……は *meretrix*……に
13P 中央左ヒラセゲンエビスの *Bothybembix*……は *Bathybembix*……に
13P のリクセンボラの写真は逆
それぞれ訂正します